

2017 年度

アメリカ留学報告書

実習先：セントラルミズーリ州立大学

実習期間：8月24日（木）～12月8日（日）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016008
五十嵐舞花

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4 - 1 留学のスケジュール	4
	4 - 2 留学の詳細	5
5	当初目的・目標への達成度	6
6	反省点、改善点	9
7	謝辞	9

付録

	留学日誌と文化について	9
--	-------------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：セントラルミズーリ州立大学

留学期間：平成 29 年 8 月 24 日（木）～平成 29 年 12 月 8 日（金）

※帰国は 12 月 9 日（日）

2 留学先概要

(1) 大学について

セントラルミズーリ州立大学 (University of Central Missouri) はミズーリ州のウォレンズバーグという町に位置する。大学があるウォレンズバーグは人口約 15,000 人の小さな町で、カンザスシティから東に 80 km の場所である。1871 年に設立され、ミズーリ州以外にも全米 43 州、57 ヶ国からの留学生が集い様々な分野を学んでいる。生徒数は約 13,000 名で、年間の学費はおよそ \$13,766 である。キャンパス内には大学運営の空港や屋内外プール、ジム、大型体育館が備わっており、学生がより良い環境で学べる場となっている。

(2) 大学で行われている教育について

セントラルミズーリ州立大学は、150 もの学術プログラムが提供され、準学士号、学士号、修士号、教授修士号など幅広い学位を取得することができる。特に航空学が有名でパイロットを目指す学生が全国から集う。今回国際情報大学の学生たちの受講したプログラムは、Intensive English Program (IEP) という留学生のためのクラスであり、4 つの違うレベルのクラスで授業を受けた。日本人の他にも韓国、中国、パキスタン、アラブ首長国連邦、ヨルダンなどの学生も同じ IEP の授業を受講した。一般学部の授業を受けるには、TOEFL で一定の点数を越えることが必須となる。

3 留学目的

今回の留学の目的は、英語力の向上である。単に英語力といってもライティング、リスニング、リーディング、スピーキングなど様々あるが、今回はアメリカという土地でネイティブスピーカーの教師の授業を受けることができるということや、英語を母国語とする一般学生が周りにいるという環境を活かし、スピーキングとリスニングの向上を第一とした。当然ながらテストの点や TOEIC、TOEFL の点は重要であるが、将来点数だけでみるのではなく、自分自身英語が聞き取れ、話せるようになることが最も大切であると考えたため、スピーキングとリスニングに最も力を入れた。こうして英語に触れ、慣れ親しむことで自然と点数も向上すると考えたためである。また、日本とは違うアメリカ文化の理解を深めることも今回の留学の目的であった。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

4 - 1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	内容
8	24	到着、入寮
	25	クラス分けテスト
	28	授業開始
	31	IEP Activity アメフト観戦
9	10	IEP Activity 野球観戦
	22	IEP Activity ジェファーソンシティへ訪問
10	7	IEP Activity ジャパンフェスティバル
11	17	Thanksgiving party (Thanksgiving break)
	19	ホストファミリー宅へ訪問
	20	フロリダへ旅行
	23	↓ ↓
12	6	IEP Graduation Ceremony
	7	TOEIC
	8	出国
	9	帰国

時間割

午前の授業は前半と後半に分かれており、だいたい 10 時頃に short break がある。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 時 限目	9:00~ 10:50	Reading	Communicati on Skills	Reading	Communicati on Skills	
2 時 限目	11:00~ 12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar	Weekly check
昼食	13:00~ 13:50					

3 時 限目	14:00~ 14:50	Accent Reduction	Seminar in Am. Culture	Accent Reduction	Seminar in Am. Culture	
4 時 限目	15:00~ 15:50	American History	USA and Japan	American History	USA and Japan	
5 時 限目	16:00~ 16:50	TOEIC		TOEIC	Conversation Partner	

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

<授業概要>

i) Reading

テキストの長文を読み、読解力を高める授業。前半の授業では素早く英文を読み理解する練習や、文の流れから空白の部分进行推測する授業など、日ごとに違う内容であった。後半の授業はテキストの長文を理解し、ペアやグループになってディスカッションや問いに対する答え合わせをするという内容であった。後期の授業では高慢と偏見(Pride and prejudice)という本を読み、グループで登場人物の心情や人間関係をディスカッションした。

ii) Writing

一つのテーマに対して調べ、ライティングのスキルを身に着ける授業。前期と後期で違うトピックを選びそれぞれ図書館で本を借りて調べ、エッセイを完成させた。要約の仕方、概要欄の書き方、書き出しのフレーズなどのエッセイの書き方を学んだ。また、ペアワークではエッセイの書き方について自分の間違っているところ、ペアの間違っているところを指摘し、正すことで会話力に加え間違いに気づけたことも多かった。

iii) Grammar

文法を初歩的なところから見直す授業。またそれを用いた応用の問題も解いていく。小グループに分かれて問題を確認し合いながらテキストの問題を進める。毎週クイズやテストがありすべてが成績に響くので要注意。

iv) Communication Skills

テキストのそれぞれトピックに沿ってリスニングをし、ノートテイキングをしつつ内容を理解してクラスでディスカッションをしていく授業。また学期末にはグループプレゼンテーションやインディヴィジュアルプレゼンテーションがある。積極的にアイデアを出し、発言することが重要。

v) Accent Reduction

各レベルのグループに分かれて発音を学ぶ授業。ネイティブの学生が問題やテーマを提示

し、国際情報の学生たちがグループ内で話し合ったり質問しあったりという授業であった。ここでは発音が少しでも間違っていると止められて教えられるため入念に発音を練習することができた。

vi) American History/Seminar in American culture/USA and Japan

主にアメリカの文化や歴史を学ぶ授業。アメリカンヒストリーでは植民地時代のアメリカや奴隷差別についてなどを学んだ。アメリカンカルチャーではいろいろなアメリカ文化を学び、のアクティビティに参加した。USA and Japan では日本とアメリカとの違いなどゲストを迎えて学んだ。

vii) TOEIC

TOEIC の問題をパートごとに授業で用いて小グループで確認し合いながら解いていく。リスニングの初歩的な問題から難易度の高い問題まで解き方や単語を学んだ。リーディングでは時間配分や長文の解き方などを学んだ末、学期末に TOEIC 公式テストを受けた。

<授業外>

viii) 大リーグ観戦

IEP Activity の一環であるイベント。バスで1時間ほどのところにあるカンザスシティの球場で野球観戦をした。カンザスシティロイヤルズという球団がホームだったので現地の人々に混ざりながら応援をした。休場はとても大きくて日本のものより階段が急で高さも高いと感じた。ロイヤルズのチームカラーが青だったのでサポーターは応援のために青を着ていたり、プーイングやヤジを飛ばしていたり、アメリカの文化を感じることができた。



ix) ジェファーソンシティ訪問

ウィレンズバーグからバスで2時間ほどの町のジェファーソンシティへ訪問した。ここでは州立の博物館があり、絵画やミズーリの歴史について学んだ。壁画や銅像などの説明を管理人の方がしてくれたのでとても興味を持つことができた。上の階には州議会議事堂もあり議事堂の中に入ることもできたのでとても貴重な体験となった。



x) Conversation partner / Activity buddy

カンパセーションパートナーとアクティビティバディは学校側で割り振られたパートナーと会話をしたり、外出したりするというアクティビティであった。カンパセーションパートナーとはカードゲーをしたり、好きな音楽などについて語ったり、そこからの繋がりで見地の学生とも交流を持つことができた。アクティブティバディとは一緒にジャパンフェスティバルという日本文化のイベントと一緒に回り交流を深めたのち、休日にはお互いの文化や選考について話しながら近くのカフェに行きランチをした。こういった機会のおかげで見地の学生の生活やネイティブスピーカーと会話をするのでとてもいい経験になった。

xi) ホストファミリー

ホストファミリー宅へ訪問し、ディナーを作ってもらった。車で寮の前まで迎えに来ていただいたので家の場所も迷うことなく訪問することができた。ベジタリアンのお宅だったので野菜のみの料理であったがアメリカ生活においては新鮮で新たな体験をすることができた。また、この夫婦から質問を受けたり質問を返したりしてお互いの文化について分かり合えた。例えばアメリカ日本における行儀や礼儀などの違いなど。



5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

まずこの留学において最も大切なことはスピーキング、リスニング力の向上である。また、異文化を理解することもとても大切なことだと考えた。異文化を感じ興味を持ちながら生活することで日本にいた時では体験することのできないことや、勉強における吸収力も高まると考えたからである。アメリカという土地でしか体験することができないことにたくさん挑戦しようと考えた。たとえば学問的な単語だけでなくカジュアルな挨拶や若者が頻繁に使う言葉や流行などを積極的に学ぼうと考えた。もちろんテストで出てくるフォーマルな言葉なども大切だが、日本の生活からはできないことのほうにも力を入れようと考えた。これには現地の学生とのふれあいや休日に出かけたときに得ることが多かった。少し話したことのある学生とは挨拶を交わすようになり、様々な言い回しや簡単な挨拶などが耳に入ることも多くなったのでフォーマルな授業部分だけでないものも多く得られたように思う。こうしたことからもっとアメリカ文化を知りたいと感じるようになり、勉学の面でも意欲がわいてきたように感じる。毎日の課題が山積みだったので予習はなかなか難しい面があったが、時間が空いた時は図書館や部屋で重要なポイントを抑えるというやり方で行った。こういったことで納得がいく結果ではなかったが、留学前より TOEIC の点がわ

ずかながら上がったので予習復習の大切さを学んだ。

6 反省・課題

反省点や改善点は様々ある中で、最も改善が必要だと感じたのは日本人の積極性のなさである。国際情報の生徒は団体で留学に来ているので危機感がなく、やはり日本人の生徒とばかり日本語で話してしまう。そうすることで授業中でも英語で会話することや発言することが恥ずかしかったり間違っているのではないかと思ってしまうということから発言できなくなってしまうため、英語を話すという機会が他国の生徒と比べて少なくなってしまう。こういった積極性のなさが一番の問題点のように感じた。これを改善するためには恥を捨て、間違っても発音が間違ってもいいから、という考えを持ち、自信をもって発言、行動することであると考え。生活している中でもアメリカ人はとてもオープンな性格でまるで日本人と違うことに驚きを隠せなかった。発言をすれば頭に印象深く残るので単語やフレーズなどが覚えやすい。こうしたことを利用するなり、最も勉強に最適な方法を見つけることが効率的な勉強の方法だと考える。今後この反省点を活かし、積極的に何事の挑戦することが自分自身成長する糧になると感じた。

謝辞

今回お世話になったセントラルミズーリ州立大学の先生方、特に Valerie 先生と Jill 先生、本当にありがとうございました。その他携わっていただいた皆様、ホストファミリーの方々、国際情報大学の矢口裕子先生、藤本直生先生、小林伊織先生、本当にお世話になりましたことを感謝いたします。また国際情報大学、日本学生支援機構からの奨学金により留学をすることができました。そして両親、周りの支えていただいた方々に心から感謝いたします。

付録：留学日誌

サンクスギビングブレイク

サンクスギビングブレイク一日目の夜にホストファミリー宅でディナーをいただいた。ヌードルという名前の犬もおり一緒に遊んだ。

その次の日からフロリダのオーランドへ渡り、ディズニーワールドへ行った。ホテルには3泊し、二つのテーマエリアへ行った。フロリダのディズニーワールドはとても広大な土地で6つのエリアを持っている。

ウォレンズバーグへ帰ってきた次の日はカンザスシティへ行き、ブラックフライデーであったため買い物をつくさんした。アメリカのブラックフライデーは年に一度の大幅セールということで好きなブランド品を買ったりお土産を買ったりした。

アメリカ文化について

- ・寮の部屋のバスルームは隣の部屋の学生と共同（4人で一つ）

- 車で15分ほどのウォルマートというスーパーマーケットにはほぼ日用品が揃っている。
- ハロウィーンやサンクスギビングの行事ではダイニングなどが飾りつけされる
- 女学生の服は基本トレーナーにレギンスにバックパック
- 服や髪形が可愛いと知らない人からも褒められる
- 基本フレンドリー
- 日本好きはアニメ好きが多い
- 夜の寮の外は重低音が激しい時がある
- ドアを必ず開けてくれる
- 時差ボケに注意